

(単元) ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動～産業革命～

(本時のねらい)

産業革命に伴う社会変化に気付き, 理解を深める。

現代社会の諸問題と結びつけて考えることができる。

(ICT活用方法)

①人口推移表の提示

都市の100年間の人口推移の表をパワーポイントで提示して, グループ学習の形態で考えさせる。都市の人口増加により, どのような影響が及んだか, またなぜ過密化がおきたのかを話し合わせ, 労働者が労働における問題だけでなく, 社会的にも様々な困難な状況に置かれたことを理解させる。従来は各自で, 教科書の図を見せていたが, 電子黒板に提示することで, 集中させることができる。

②5G社会の予想図

第四次産業革命進行中の今に観点を移し, 今後の未来に思いを馳せる。輝かしい変化の裏では, 想像もつかない問題が起こるかもしれないことを伝える。自分たちが問題解決の担い手になるという自覚を持たせる。

(本時の展開)

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|-------------------------|---|------------------------------|-------------------------|
| 導入 5分 | 「今日の豆知識」 環境破壊 | ESDのテーマの一つである環境問題は, 人類の歴史とともに存在したことを知る。 | | |
| 展開 40分 | ・前時の復習 | 産業革命による社会の変化について想起させる。 ・資本主義社会の成立 ・パクス=ブリタニカ | | |
| ICT活用方法: 都市の100年間の人口推移の表をパワーポイントで提示して, グループ学習の形態で考えさせる。 | | | | |
| | ・人口動態の図表から当時の社会の様子を考える。 | 繁栄した反面, 多くの問題が発生したことに気付かせ, 対策として生まれた動きを知る。 (グループワーク) | 図表から, 社会の様子や影響を考察している。 | ホワイトボード発表 (思考・判断・表現) |
| ICT活用方法: 5G社会の予想図をパワーポイントで提示して, グループ学習の形態で考えさせる。 | | | | |
| | ・現在進行中の第4次産業革命に | AIや暗号資産・空飛ぶ車など, 急激なスピードで進む現代社会の変化につ | 現代の社会情勢に関心を持ち, 意欲的に話し合いに参加して | 話し合い (関心・意欲・態度) |

| | | | | |
|-----------|-------------|----------------------------|-----|--|
| | ついて話し合う。 | いて、グループで共有させる。 | いる。 | |
| まとめ 5分 | 本時の学習を振り返る。 | 歴史は未来を生きるための指標であることを理解させる。 | | |

(授業の様子)

< 教室の様子 > < 板書と ICT >



< 電子黒板の状況 >



< 話し合いの状況 >



授業後の反省など

(生徒の反応)

- ・ペアワークやグループ学習を取り入れたので、生徒の活動は活発だった。

(ICT 改善点)

- ・多くの情報を入れすぎた。ねらいに絞った精選が必要。

(狙いの再設定)

- ・産業革命は、他分野や現在につながるテーマで、伝えるべき内容が多い。つい、欲張って言い過ぎてしまうため、生徒は受け取る情報が拡散してしまうかもしれない。①時間の授業で何を伝えたいか、明確にしてスリム化する必要がある。

(感想)

- ・人口増加のグラフから都市の過密化を考えさせようと思ったが、説明が手薄になり、生徒に伝わりにくかった点があった。反省点を活かして次につなげたい。

(今後の展望)

- ・ICT の操作や授業の展開は、回数を重ねることでしか上達しない。より良い授業展開ができるよう、研修と実践を続けていきたい。